

令和6年能登半島地震における被災者に係る医療負担金の免除を申請された患者さんへ 研究協力のお願いについて

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の相談窓口へお問い合わせ下さい。ご連絡がない場合においては、ご了承をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、この研究は、倫理審査委員会の審査を受け、研究責任者の所属機関の長の承認を得て行っているものです。

1. 研究の対象

2023年1月1日～2024年12月31日の間に、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、間質性肺炎で当院に通院されており、令和6年能登半島地震における被災者に係る医療負担金の免除を申請された方

2. 研究の概要

研究課題名 令和6年能登半島地震に伴う災害が呼吸器疾患患者に与えた健康への影響について

研究期間 承認日 年 月 日 ～ 2028年 3月 31日

目標数 全体300例（金沢大学：30例）

この研究は、令和6年の能登半島地震が、慢性的な呼吸器の病気を持つ方々の健康にどのような影響を与えたかを明らかにすることを目的としています。具体的には、地震後に医療費の自己負担を免除された患者さんの診療記録やレセプト情報を調べます。そのうえで、地震による生活環境の変化や病院への通院が難しくなったこと、さらには粉じんを吸い込んだ可能性など、さまざまな要因が、喘息や慢性閉塞性肺疾患、間質性肺疾患といった病気の悪化のしやすさや重さに、どのように影響したかを検討します。

3. 研究の目的・方法について

この研究では、令和6年の能登半島地震で被災し、医療費の自己負担が免除された呼吸器の病気を持つ患者さんを対象に調べます。対象となる期間は、震災の前後1年間（2023年と2024年）です。私たちは、患者さんの診療記録や医療費のデータをもとに、喘息や慢性閉塞性肺疾患、間質性肺疾患といった呼吸器の病気が、地震の前と後でどのくらい悪化したかを比較します。具体的には、救急外来の受診や入院の有無、ステロイド薬の使用状況などの「客観的な記録」と、粉じんを吸った可能性や避難所の生活状況といった「生活背景」を組み合わせて分析します。

この研究では、地震によって呼吸器の病気の悪化がどれくらい増えたのか、またその悪化にどんな要因が関わっていたのかを明らかにすることを目的としています。さらに、薬の治療や在宅酸素療法がどの程度続けられたか、ストレスが健康に与えた影響なども調べます。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

診療の際に得た情報を使用します。

情報 年齢、性別、粉塵曝露歴、避難状況、治療内容（薬物治療、在宅酸素療法）、
呼吸機能、増悪歴、定期外受診歴、入院歴

5. 外部への試料・情報の提供・公表

提供された情報は、金沢大学又は共同研究機関において個人が特定できない様に匿名化を行います。解析は金沢大学で行うため、共同研究機関で得られた情報は、金沢大学へ提供されます。金沢大学で受領した情報は、研究責任者（附属病院呼吸器内科 助教 山村健太）の責任の下、厳重な管理を行い、個人情報が漏洩しないよう細心の注意を払います。

6. プライバシーの保護について

この研究にご参加いただいた場合、提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されますので、あなたの個人情報が外部に漏れることは一切ありません。

この研究で得られた結果は学会や医学雑誌等に発表されることがあります。このような場合、あなたの個人情報などのプライバシーに関するものが公表されることはありません。

7. 研究組織

研究代表者 金沢大学 附属病院呼吸器内科 助教 山村健太

(1) 金沢大学における研究実施体制

研究責任者	附属病院呼吸器内科	助教	山村健太
研究分担者	医薬保健研究域医学系呼吸器内科学 健康管理センター	教授 助教	矢野聖二 阿保未来
	附属病院呼吸器内科	助教	大倉徳幸
	医薬保健学総合研究科	特任准教授	渡辺知志
	医薬保健研究域医学系呼吸器内科学	助教	古林崇史
	附属病院呼吸器内科	医員	湯浅瑞希
	附属病院呼吸器内科	医員	武藤篤

(2) 共同研究機関と研究責任者

研究機関	研究責任者	役割
恵寿総合病院	呼吸器内科・松岡寛樹	情報の収集、提供
福島県立医科大学	放射線健康管理学講座・坪倉正治	データ解析の助言

8. 本研究に係る資金ならびに利益相反について

この研究は大学の運営費を用いて行われます。また、この研究の研究担当者は、この研究において企業等との間に利害関係はありません。この研究の研究担当者は、金沢大学または各研究機関の規定に基づく利益相反審査機関へ自己申告し、その審査と承認を得ています。従って、この研究の研究担当者は、この研究の実施の際に個人的な利益のために専門的な判断を曲げるようなことは一切いたしません。

9. 研究への不参加の自由について

情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、2027年3月31日までに下記の問い合わせ先までお申出ください。なお、研究結果が既に医学雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

10. 研究に関する窓口

この研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

研究責任者 金沢大学 附属病院呼吸器内科 助教 山村健太
相談窓口担当者 金沢大学 附属病院呼吸器内科 助教 山村健太
住所 〒920-8641 金沢市宝町13番1号
電話 076-265-2146 (内線2146)